

平成 22 年 11 月 10 日

大阪国際大学「朝市」プロジェクト実施要綱

ビジネス学部長 古殿幸雄
経済ファイナンス学科 縄田文子
心理コミュニケーション学科 玄野博行

1. 趣旨

OIU では、「セミナーに力を入れている大学」というアピールをしているにもかかわらず、活動が停滞しがちである。その原因には、学生のコミュニケーション能力の不足で活発な議論が起こらないことや、受身の姿勢の学生が増えて、グループ活動がうまく運営できないことなどがある。また、知識量が多い学生でも、その知識を実践で使う知恵がないといった問題がある。

そこで、社会で活躍する人材を増やすには、大学で知識活用能力を育むプログラムを充実していくことが必要である（その育成に最も適しているのが、セミナーだと考えている）。知識活用能力は体験からしか得られないため、PBL（Project-Based Learning）の学びの一環として本プロジェクトを位置づけ、学生教育を試みたい。なお、こうした考えに理論的な裏付けを与えてくれるのが、経済産業省が概念化した「社会人基礎力」である。

以上のように、従来の講義型授業での専門知識の蓄積に加え、PBL によって知識活用能力を育み、社会に貢献し将来を担う人材を輩出し続けることが重要であると考えます。

2. 朝市の名称及び主催者

名 称：「大阪国際大学 朝市」

主催者：大阪国際大学「朝市」プロジェクト

統括責任者：ビジネス学部長 古殿幸雄、

統括補佐：経済ファイナンス学科 教授 縄田文子

心理コミュニケーション学科 講師 玄野博行

参加学生：古殿ゼミ生、縄田ゼミ生、玄野ゼミ生、安保ゼミ生

スマイルプロジェクト学生、「ひと・まち・であう」プロジェクト学生、
経済ファイナンス学科の学生など

3. 開催日時・場所

開催日時：月 1 回（予定）

試行 第一回 平成 22 年 12 月 4 日（土）・・・ 補講調整日

第二回 平成 23 年 1 月 29 日（土）・・・ 補講調整日

10 時～13 時

（搬入 9 時～9 時 45 分、搬出 13 時～14 時）

（雨天決行、荒天の場合は中止）

場 所：大阪国際大学 枚方キャンパス（詳細は別紙参照）

4. 出店対象者

大学近隣の農家、個店など

5. 出店対象品

大学近隣で生産される農作物または農作物を使用した加工食品、手作り品、こだわり品など。
※食品を扱う個店については、保健所発行の食品衛生法による営業許可書を取得済みのこと。

6. 出店料・店舗面積

出店料：試行日は無料とする。（平成23年度以降については大阪国際大学にて検討）

店舗面積：原則として、1申請者につき1店舗とする（3m×3m程度）

※原則、会場の電源設備は使用不可

8. 出店方法

農家：プロジェクト担当教員が各農家と個別対応（各出店農家の作物が同種類とならないように、多様な種類を集めて販売することで、来場者と各農家の満足度向上を図るため）

個店：別紙様式の申込方法にて申請

9. 販売方法

原則として、新聞紙を敷いたセミナー室の長机2台に出品物を置いて販売する。

10. 各店舗の運営方法

原則、出店者による自主運営。

11. 集客

学園のマイクロバスを活用して、地域を巡回するなどして来場者の確保を行う。

菅原東校区の広報誌（月1回発行）、枚方市の広報誌などで案内を依頼する。

12. その他

（1）出店に係る設備一式については、出店者が調達、配備を行うものとする。

商品から生じるゴミ等については、出店者の責任において、処分するものとする。

（2）荒天により、当日止むを得ず中止する場合は、8時30分までに

出店者に連絡を行うこととする。

なお、この場合、主催者側においては、営業保障等は行わないものとする。

以上